

<http://www.elec.or.jp/>

Oral Presentation Skills

目標

- 様々な目的のプレゼンテーションを実際に行ってみて、プレゼンテーションとは何か、何が大切かを理解する。
- プレゼンテーションの構成の基礎を理解する。
- 英語で発言をする場合に自信を持って話すことができるよう、発音、スピードやストレスイントネーション等を含めた効果的な話し方を練習する。
- 自己評価を用いて、スキルアップを確認しながら練習をする。

指導方針

- 「イントロダクション」「説明」「結論」と言った基本的なプレゼンテーションの構成を指導。
- その次に目的の違うプレゼンテーション、つまり情報伝達、説明、問題解決、説得といった種類のプレゼンテーションを行いながら、話すことに慣れる練習、その次に自分自身のプレゼンテーションの課題を考えさせる。
- 事前準備と学生の発話が中心の授業運営を行う。

プレゼンテーションの種類	CE1 レベル topic	CE2 レベル topic
Informative 情報伝達	My home town	Problems in my country
Demonstrative 説明	How to cook a dish	How to be a better person
Problem/Solution 問題解決	Raise student grades	The aging population
Persuasive 説得	Join my university	Political topics

概要

1	基本構成	Introduction, presentation structure
2	発話練習 1	stressing words and phrases
3	プレゼンテーション	informative presentation 情報伝達
4	発話練習 2	duration variety
5	プレゼンテーション	demonstrative presentation 説明
6	発話練習 3	stretching words and phrases
7	プレゼンテーション	problem/solution presentation 問題解決
8	声の大きさ	projecting volume
9	プレゼンテーション	persuasive presentation 説得
10	プレゼンテーション	final presentation and evaluation

<http://www.elec.or.jp/>

Conversational Skills

目標

学生が外国人と英語で会話する際に実際に役立つスキルを選び 10 回のレッスンの中で指導をする。

- 友人、知人、同僚、見知らぬ人と自然に会話を始められるようになる。
- 会話の意味がわからなかった時に尋ねられるようになる。
- 外国人と会話を続ける返答等（興味を示す、相槌をうつ、質問をする）を会得する。
- 丁寧な言い方で意見を述べる。
- 会話を終わらせない言い方で賛成・反対の意向を伝える。
- 知識や興味のない話題への参加できるようになる。

指導方針

- 会話に役立つ表現を、実践的な会話練習をしながら指導する。
- 学生の発言を中心に授業を進める。新しい表現のインプットの後には小グループやペアワークでの会話練習を多く行う。

CE1 topic

CE2 topic

1	Tag questions	+	Metaphors and similes
2	Asking for clarification and confirming factual information	+	Asking for the meaning of idiomatic expressions and giving an example of use in confirming understanding
3	Phrases of concurring, types of follow-up questions	+	Embedded questions
4	Giving opinions	+	Asking hypothetical questions
5	Disagreeing and agreeing	+	Contrasting opinions, gently changing the subject
6	Difficult language	+	Sensitive cultural matters

概要

Lesson 1	Breaking the ice and initiating conversation
Lesson 2	Asking for clarification and confirming
Lesson 3	Maintaining conversation
Lesson 4	Giving compliments
Lesson 5	Asking for and giving opinions
Lesson 6	Qualifying opinions
Lesson 7	Agreeing and disagreeing
Lesson 8	Comparing and contrasting
Lesson 9	Participating in difficult conversations
Lesson 10	Conversation practice and role-plays

<http://www.elec.or.jp/>

Paragraph Writing

目標

- 比較的短いレポートを書く時に、まとまりのあるパラグラフを書けるようになる。
- 前後関係が明確なパラグラフを書ける
- 複文を適切に用いることができる
- 句読点を正しく用いることができる
- 短い文章の論理展開ができる
- 文章の校正、編集ができる

指導方針

- 「パラグラフとは何か」「正しい文章の書き方」などのレクチャーを行い、次に練習問題に沿って英文を書きながら、理解を深めるようにする。
- 当コースの概要は中級・中上級とも同じだが、中上級は教材や課題がより複雑になる
- CE1 レベルでは、単文を用い、2種類の製品・考えの比較等、具体的なトピックを扱う。
- CE2 レベルでは複文を用い、リーダーシップ等、抽象的なトピックを扱う

概要

Topic	
1	Orientation with correction symbols 添削記号
2	Writing cohesive paragraphs 前後関係の明確なパラグラフとは
3	Correctly punctuating sentences 句読点
4	Logical flow 論理展開
5	Proofreading and editing 校正
6	Writing at an appropriate register 文章の種類に適切な丁寧さの表現の違い
7	Using complex sentences 正しく複文を書く
8	Rephrasing for structural variety 強調の表現
9	Giving and justifying opinions 意見を述べる
10	Final writing task エッセイライティング

<http://www.elec.or.jp/>

Paragraph Reading

目標

比較的短い文章を読み慣れ、徐々に長い文章を読む場合にも、主旨の理解と自身の考えを整理できるようになる。

- 新聞記事等に多い 1/2 ページ程度の長さの文章を、スキミング（文章を 1 語 1 句読むのではなく、速読により大意をつかむ読み方）とスキニング（特定の語彙のみを拾い読みする方法）ができるようになる。
- 意味を知らない単語があった場合に前後の文章から推測できるようになる。
- 複数の意味を持つ接続詞や関係詞で結ばれた文章やなど複雑な文章でも意味を正確に読み取れるようになる。
- 1/2 ページ程度の長さの文章を読み、口頭で要約できるようになる。

指導方針

- 文化、社会問題、ビジネス文書、文学など様々なスタイルの読み物を使って、速読・精読などの練習を行う。和訳は行わず、英語で読み、理解する力を養成する。
- 内容の CE1 レベルと CE2 レベルの授業の流れ、概要は同じ。但しリーディング教材でレベル差をつける。CE1 レベルでは結論や主旨がわかりやすいものに対して、CE2 レベルでは抽象的な内容のもの、結論づけられないものなどを用いる。

概要

	Topic
1	Effective scanning スキミング練習
2	Effective skimming スキニング練習
3	Vocabulary problems 語彙の推測
4	Complex structures 複雑な文章の読解
5	Summarising processes 要約練習（過程）
6	Summarising complex information 要約練習（複雑な文章）
7	Summarising contrasting information 要約練習（構成）
8	Comparing and discussing sources 類似した記事等の比較
9	Determining inferred information 複数の記事等の関係を読み理解する
10	Final reading task 復習

<http://www.elec.or.jp/>

Media English メディア英語

目標

学生が実社会に出てすぐに直面する「英語による情報収集→分析→報告・発表（プレゼン）」というタスクのプロセスを、広く一般に入手できるメディア英語を素材として、本授業で実体験させる。それにより、与えられたテーマに関する情報収集力、分析力、プレゼン能力を高める。特に critical thinking および logical thinking を意識して物事を考える習性を身につけてもらう。結果として、英語力の向上にもつなげる。
講師にはジャパンタイムズ社の協力を得て、同社の現役記者、編集者、OB（日本人または外国人）に講師を依頼する。

指導方針

原則として英語によるレクチャーと討議を行う。ケーススタディーではテーマを予め設定。インプット段階で担当講師が問題提起→次回まで学生が自分の意見をまとめ、それを裏付ける情報（メディア記事）を付記し、短いレポートを提出させる。それにもとづき、pro&con と 2 グループに分かれてディベートを行う。教材には The Japan Times などの英字新聞およびネット上でアクセスしうる海外のニュースサイト(The Washington Post, The New York Times, 英国 The Times など)から素材を集める。

複数の講師がテーマによって授業を担当する。

概要

CE1

- 1 序論：日本を取り巻く英文メディアの現状
- 2 メディア英語の特色（Ⅰ）：見出し10のルール
- 3 メディア英語の特色（Ⅱ）：本文の構造
- 4 メディア英語の特色（Ⅲ）：本文の構造
- 5 英文メディアの現場から：ジャパンタイムズは3・11をどう報じたか
- 6 英文メディアの現場から：外国メディアは3・11をどう報じたか
- 7 演習Ⅰ：テーマ：「日本の失われた20年は真実か？」（講師による問題提起）
- 8 演習Ⅰ：同上（学生によるディベート）
- 9 演習Ⅱ：テーマ：尖閣問題をめぐる日中対立と外国メディアの報道（講師による問題提起）
- 10 演習Ⅱ：同上（学生によるディベート）

CE2

- 1 序論：日本を取り巻く英文メディアの現状
- 2 演習Ⅰ：テーマ：「日本の失われた20年は真実か？」
- 3 演習Ⅰ：同上（リサーチ報告とディベート）
- 4 演習Ⅰ：同上（リサーチ報告とディベート→講師による講評）
- 5 英文メディアの現場から：ジャパンタイムズは3・11をどう報じたか
- 6 英文メディアの現場から：外国メディアは3・11をどう報じたか
- 7 演習Ⅱ：テーマ：尖閣問題をめぐる日中対立と外国メディアの報道
- 8 演習Ⅱ：同上：（リサーチ報告とディベート）
- 9 演習Ⅱ：同上：（リサーチ報告とディベート→講師による講評）
- 10 メディア・リテラシーとは

<http://www.elec.or.jp/>

TOEFL® Skills

目標

- TOEFL® iBT のテスト形式を理解する。
- 問題演習を通じて自己の弱点、学習ポイントを理解し、自己学習につなげる。
- 各パートの勉強方法を学ぶ。
- CE1 レベルの学生は TOEFL® iBT60 点、CE2 レベルの学生は 70 点を目指す。

指導方針

今回の 10 回の授業では各パートの紹介を行い、サンプル問題の演習を行う。
問題練習の後、どのような点が難しいか、それぞれのアイデアをシェアし、また勉強方法を紹介する。

概要

Lesson 1	リスニングパート紹介、問題練習 概要を理解する聞き取り練習、リスニング練習方法 および教材等の紹介
Lesson 2	リスニングパート問題練習 概要を理解する聞き取り練習
Lesson 3	ライティングパート紹介、問題練習 1 与えられた課題・テーマについて自分の意見を書く
Lesson 4	ライティングパート問題練習 2 複合問題の練習
Lesson 5	リーディングパート紹介、問題練習 速読練習
Lesson 6	ライティングパート問題練習 3 与えられた課題・テーマについて自分の意見を書く
Lesson 7	スピーキングパート紹介、問題練習 1 メモの取り方とそれを元に簡潔に話す
Lesson 8	スピーキングパート問題練習 2 与えられた課題・テーマについて自分の意見を話す
Lesson 9	スピーキングパート問題練習 3 与えられた課題・テーマについて自分の意見を話す
Lesson 10	スピーキングパート問題練習 4 与えられた課題・テーマについて自分の意見を話す

<http://www.elec.or.jp/>

English Lounge

目標

- 英語力の自己評価を行い、自身の英語力を理解するなどのオリエンテーションや最終的な評価、アドバイスを最初と最後に行う。
- 映画やドラマ、インタビューなどのビデオを使い、ネイティブ同士の日常会話の話し方を聞き、自然な英語の聞き取り能力、理解力を向上させる。
- ドラマ等の台詞の真似から自然な発音、話し方を身につける。
- 映画やドラマなどの台詞を理解できるようになることで、英語ができることが楽しいことだと感じる。

指導方針

- 英語を楽しみながら学べるようにする。
- 教材はインターネットで入手可能な 2-6 分程度の映画やドラマのワンシーン、著名人のインタビュー、ドキュメンタリーなど学生が抵抗なく興味を持つものを選ぶ。
- それぞれのビデオは基本的に台詞の台本を用意し、リスニングの後、正確な内容を復習できるようにする。また理解力を確認するための質問票なども用意する。

ビデオを使った授業の流れは次の通り

1. ビデオ視聴前に内容を予測する
2. ビデオ視聴（2回以上・・・おおよその内容を把握できるまで）
3. 内容についての質問により理解を確認
4. 台詞の台本をチェックしながら内容を再確認
5. 役を分担してロールプレイ、話しをアドリブで続ける、ビデオ内容の評論等を行う

概要

Lesson 1	Orientation & Self-evaluation
Lesson 2	Hachiko: A dog's story
Lesson 3	Kate Middleton's Extreme Diet
Lesson 4	Dating science Asia
Lesson 5	Bilingual Education
Lesson 6	Bill Gates talks about the late Steve Jobs
Lesson 7	One month old baby talking
Lesson 8	Frank-n-brains
Lesson 9	Self-evaluation, Questionnaire
Lesson 10	Feedback